事例１　　高等学校芸術科（美術）

１ 題材について

| | |
|---|---|
| 対象学年 | 全日制　第１学年 |
| 学習指導要領 | 美術Ⅰ　B 鑑賞 |
| 題材名 | 「学校情報をダイアグラムで表そう！」 |
| 題材の目標 | ・社会の中の情報デザインの実際を事例を通じて鑑賞し、他者との意見交流を通して、その社会的役割や工夫について考察し理解する。<br>・グループワークを通して言語活動の活発化を図り、情報を伝達するための効果や、構成、色彩、レイアウト等を計画的に考え、表現する。<br>・他者の作品を鑑賞してそのよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。 |
| 配慮事項 | ＜題材開発の工夫＞<br>生徒の様子を見ていると、「A表現」内容の「絵画・彫刻」と「デザイン」を混同してとらえている場合がある。今回の授業では、実生活の中にある「デザインされたもの」について、改めて気付く機会を設け、参考資料の鑑賞、作品制作、発表、制作した作品の相互鑑賞へと展開していきたい。<br>第１段階として、自ら収集した資料を鑑賞する。社会の中に溢れるデザインされたもののうち、情報デザインの分野ではどのように情報を視覚化し、その効果やデザイン性を考慮して提供されているのかを理解する。そこから理論的に自分の考えを導き出し、意見交流をする中でデザインについての理解を深めていく。<br>第２段階では、身近な高校生活を見つめて、他者に紹介したいと思う学校の様々な現状や事柄をまとめたものを、ダイアグラム化して表現する。情報の機能性を保ちつつ、デザインとして視覚的効果や、表現意図が明確に伝達できる手立てや技法、画面構成や色彩の効果などをグループでまとめながら制作していく。グループでデザインを考えて制作する中で、他者の意見に耳を傾け、自分の考えや表現方法とどのように近づけていくのかを体験できる機会となるようにしたい。<br>第３段階では、作成したダイアグラムをプレゼンテーションすることで、コンセプトや制作過程を振り返り、客観的視点に立って、様々な角度から自他の作品を鑑賞し合う。<br>改めて、身近にあるデザインに目を向けさせることで、そのデザインが様々な要素をもってバランスよく整えられ、試行錯誤の中でつくりだされた結果であることを理解させたい。<br>＜題材の指導方法の工夫＞<br>・長期休暇を活用し、身近な生活の中の資料を収集させることで、デザインについての関心を高めるようにする。<br>・グループごとにダイアグラムを作成させ、活発に交流を行うことで、デザインについての理解を深めるようにする。<br>・ワークシートを工夫し、自分の思考を整理できるようにする。<br>・作品のプレゼンテーションと批評会を実施することで、他者作品を客観的に評価できるようにする。 |
| 参考資料 | インフォグラフィックス　木村博之著　誠文堂新光社<br>Everyday Diagram Graphics／身近なダイアグラム　パイ インターナショナル<br>美術Ⅰ　日本文教出版<br>「Japan the strange country」Kenichi Tanaka / you tube<br>明治製菓 2013.9.13 掲載新聞広告　meiji.co.jp |

2 題材の評価規準

| | B 鑑賞 | |
|---|---|---|
| | a 美術への関心・意欲・態度 | d 鑑賞の能力 |
| 評価規準 | 1 情報デザインの社会的役割や工夫について考察し理解しようとしている。<br>2 主題を基に、ダイアグラムの特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。<br>3 他者の作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などに関心をもち、理解しようとしている。 | 1 情報デザインの社会的役割や工夫などを感じ取り分析するなどして、情報デザインに対する自分の考えをもち、理解している。<br>2 他者の作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、理解している。 |

3 指導と評価の計画

| 時 | ねらい | 学習活動 | 評価規準 | 評価方法 | 指導・援助 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 情報デザインと社会生活の関わりを理解し、その役割や工夫を考察し理解する。 | 情報デザインとはどのようなものなのか理解しよう。<br>・情報をダイアグラム化するとどのように理解しやすくなるかを理解する。<br>・資料を鑑賞、分析し、グループ内でまとめる。<br>・グループの代表者が発表する。 | a-1情報デザインの社会的役割や工夫について考察し理解しようとしている。<br>d-1 情報デザインの社会的役割や工夫などを感じ取り分析するなどして、情報デザインに対する自分の考えをもち、理解している。 | プリント<br>発言 | 夏期休業中に各自で情報デザインの資料(店舗フロアーガイド、人物相関図等)を収集するよう指示しておく。<br>ワークシートを配布する。<br>全クラスの意見を集約したプリントを作成する。 |
| 2<br>3<br>4 | 情報デザインを作成する上で重要となる要素を踏まえて、学校の情報をダイアグラムに表現する。 | 学校の情報をダイアグラムに表現しよう。<br>・グループでどのような内容を表現するか決める。<br>・作品のコンセプトを決め、企画書を作成する。<br>・企画書に沿って作品を制作する。 | a-2 主題を基に、ダイアグラムの特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 | 作品<br>発言<br>行動観察 | 参考資料を用意する。<br>全クラスの意見を集約したプリントを配布する。<br>各グループに１台ＰＣを準備する。<br>巡視し発問やコンセプトからグループ内の考えをまとめさせる。 |
| 5 | 互いの作品を鑑賞し、それぞれの作品の評価をする中で、情報デザインの有益な表現方法について考える。 | 作品のプレゼンテーションをし、コンセプトや見所などをアピールしよう。<br>・作品を鑑賞し合い作品のコンセプトやデザイン性を理解し、評価する。<br>作品を鑑賞し、工夫点やや具体的な課題について考え合おう。 | a-3 他者の作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などに関心をもち、理解しようとしている。<br>d-2 他者の作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、理解している。 | 作品<br>発言 | 意見をまとめやすくするように、ワークシートを作成し配布する。<br>机列の工夫や対話型の進行で自由に発言しやすい環境をつくる。 |

4 単位時間の授業展開例と授業記録

（1）授業展開例１

ア　本時の位置　　１／５時間

イ　本時のねらい　　情報デザインと社会生活の関わりを理解し、その役割や工夫を考察し理解する。

ウ　授業展開　　【美術への関心・意欲・態度】【鑑賞の能力】

| | 学 習 活 動 | 評価について | 指 導 ・ 援 助 |
|---|---|---|---|
| 導入5分 | 本時の授業内容の確認<br>情報デザインとはどのようなものなのか理解しよう。<br>本時の授業内容と目標を理解する。<br>文章では伝わりづらいことも視覚化することで分かりやすくなることを理解する。<br>配布プリント資料① | | 夏期休業中の課題で、学校について紹介したい情報の調査と生活の中にある情報デザインに関わる資料（フロアーガイド、人物相関図等）を収集し、提出するようにする。 |
| 展開35分 | work1 文章を図式化してみる。<br>登場人物ＡＢＣＤの相関関係をスケッチブックに描く。<br>代表者が板書し、発表する。<br>発表を聞き質疑応答する。<br>共通してみられる表現や、言葉を使わずどのように表現しているかを考える。<br>work2 グループをつくる。<br>自分の考えてきた情報を①～⑤のカテゴリーに分類する。<br>自分はどの分類に入るかを記入する。<br>同じ分類同士で３～４人の制作グループをつくる。 | a-1<br>情報デザインの社会的役割や工夫について考察し理解しようとしている。 | 机列を男女それぞれ向き合いにする。<br>スケッチブックを用意する。<br>プリントを配布する。<br>生徒の板書した図について、共通要素や個別の要素を取りあげ、考えさせるようにする。<br>夏期休業中の課題に事前に目を通し、どのような項目がでているのかを把握してグループを作成する。 |
| まとめ10分 | グループ work１　グループで収集した資料を鑑賞し評価する。<br>収集資料について発表し、その効果や機能について分析し合う。<br>・見やすさ<br>・分かりやすさ<br>・楽しさ、独自性<br>・デザイン性（文字、イラスト、色）<br>・物足りなさ　他<br>自分たちのグループが取り組む内容を決める。<br>話合いで出てきた意見を発表し、クラス全体で共有する。<br>次時からの授業の流れを把握する。 | d-1<br>情報デザインの社会的役割や工夫などを感じ取り分析するなどして、情報デザインに対する自分の考えをもち、理解している。 | カテゴリーに分けづらい生徒には助言する。<br>方向性がまとまらないグループに助言する。<br>主要な意見を分かりやすくまとめ板書する。 |

（2）授業展開例２

ア　本時の位置　２／５　時間

イ　本時のねらい　情報デザインを作成する上で重要となる要素を踏まえて、学校の情報をダイアグラムに表現する。

ウ　授業展開　【美術への関心・意欲・態度】

| | 学 習 活 動 | 評価について | 指 導 ・ 援 助 |
|---|---|---|---|
| 導入<br>５<br>分 | 前時の確認と本時の流れを確認する。<br>情報デザインの重要事項５項目に整理し確認する。<br>attractive(目を引く) clear(情報の明確化)<br>simple(簡 略 化) flow(目の流れに沿う)<br>wordless(文字を少なく) | | 全てのクラスから出された意見をまとめたプリントを配布する。<br>情報デザインの制作に必要な要素5項目を分かりやすくまとめる。 |
| 展開<br>① | 学校の情報をダイアグラムに表現しよう。 | | |
| 15<br>分 | 企画書の作成をする。<br>前時に決めた内容について、コンセプトの話合いと作成計画及び役割分担等を企画書に記入する。 | a-2<br>主題を基に、ダイアグラムの特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 | 企画書のプリントを配布する。<br>コンセプトの意味や重要性を気付かせる。<br>個々のアイデアが反映されるよう指導する。 |
| 展開<br>② | 企画書の作成を通して、どのような画面にするか見通しをグループ内で共有する。 | | 企画書の内容を確認し、制作において迷っているグループには助言する。 |
| 25<br>分 | Ｂ２ボード１枚にダイアグラムを表現する。<br>準備の整ったグループから制作に取り掛かる。<br>情報の整理と材料の選択 | | Ｂ２イラストボード<br>色画用紙　多色<br>ＰＣ・プリンター<br>文具等の用意 |
| まとめ<br>５<br>分 | 後片付け<br>企画書の提出をする。<br>本時の作業進度の確認と次時の授業内容及び制作手順の確認 | | 企画書を集める。<br>各グループの進度を把握する。 |

（3）授業展開例３

ア　本時の位置　３・４／５　時間

イ　本時のねらい　情報デザインを作成する上で重要となる要素を踏まえて、学校の情報をダイアグラムに表現する。

ウ　授業展開　【美術への関心・意欲・態度】

| | 学 習 活 動 | 評価について | 指 導 ・ 援 助 |
|---|---|---|---|
| 導入５分 | 前時の確認と本時の流れを確認する。<br>情報デザインの重要事項５項目に整理し確認する。<br>attractive(目を引く) clear(情報の明確化)<br>simple(簡 略 化) flow(目の流れに沿う)<br>wordless(文字を少なく) | a-2<br>主題を基に、ダイアグラムの特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 | 情報デザインの制作に必要な要素５項目を板書しておく。<br><br>企画書のプリントを返却する。 |
| 展開<br>40分 | 学校の情報をダイアグラムに表現しよう。<br><br>企画書を確認しながら、作品を制作する。<br><br>必要に応じて追加の取材や写真撮影を行う。<br><br>タイトルの文字やその他の表記に関してプリントアウトが必要な場合は、各自でプリントアウトする。<br><br>制作途中で、他のグループと交流したり、制作について助言し合ったりしながら制作を進める。 | | コンセプトの方向性を確認させる。<br>グループ内の作業進度と分担等を確認する。<br><br>表現方法に行き詰っているグループには助言する。<br>カメラの貸出しをする。<br>フォントや文字の大きさ、色などデザイン面の助言、指導をする。<br><br>各グループの進度を把握する。 |
| まとめ５分 | プレゼンテーションをするときの方法も考慮に入れながら作成する。<br><br>本時の作業進度の確認と次時の授業内容及び制作手順を確認する。 | | 次時の授業内容を確認する。 |

（4）授業展開例４

ア　本時の位置　５／５　時間

イ　本時のねらい　他者の作品を鑑賞し、そのよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。

ウ　授業展開　【美術への関心・意欲・態度】【鑑賞の能力】

| | 学 習 活 動 | 評価について | 指 導 ・ 援 助 |
|---|---|---|---|
| 導入<br>10<br>分 | 本時の流れを確認する。<br>発表の内容及び流れについて把握する。<br><br>評価表の記入の仕方を通して、本時の作品鑑賞会と項目ごとの評価規準について理解する。<br><br>発表の順番を決める。 | a-3<br>他者の作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などに関心をもち、理解しようとしている。 | 本時の流れを板書しておく。<br><br>発表の内容について伝える。<br>発表用のイーゼルを用意する。<br><br>評価表のプリントを配布する。 |
| 展開<br>30<br>分 | 作品のプレゼンテーションをし、コンセプトや見所などをアピールしよう。<br>第１～第４グループの発表<br>評価表に評価・感想等を記入する。<br>グループ内で感想の交流をする。<br>１～４人程度感想を発表する。<br>attractive(目を引く) clear(情報の明確化) simple(簡 略 化) flow(目の流れに沿う) wordless(文字を少なく)の５項目について、それぞれ５つ星で評価する。その評価理由について述べる。<br>作品を鑑賞し、工夫点や具体的な課題について考え合おう。<br>全ての発表が終了したら、全体的な感想を発表し交流する。<br>評価表にまとめの感想を記入する。 | d-2<br>他者の作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、理解している。 | コンセプトに応じた表現について必ず発言するよう投げかける。<br>作品のみを鑑賞した場合とプレゼンを聞いて鑑賞した場合の違いを認識させる。<br><br>感想意見で物足りなさについて述べられた場合は具体的改善点等を問いかけ、考察させる。<br>終了したグループの作品はイーゼルに展示し比較鑑賞できるようにする。 |
| まとめ<br>10<br>分 | 参考作品を鑑賞する。<br>・Meiji 製菓の新聞広告<br>・「Japan is strange country」<br>Kenichi Tanaka / You tube より<br>日常生活の中にある様々な情報デザインに意識的に目を向け、社会的に担う役割の大きさについて認識する。 | | 参考作品の選択では、分かりやすさとデザイン性の調和に優れ、生徒の興味・関心をひきやすいものを紹介することで、授業後の継続した意識付けを図る。 |

（５）授業の記録（１／５）

■教師の発言・生徒の発言

……は改善のポイント　＿＿＿＿は配慮事項

| | 教師の発言 | 生徒の発言 |
|---|---|---|
| 導入5分 | 《プリント配布》<br>《夏季休業中の課題の返却》<br>■これから情報をデザインするとはどのようなことなのかを考えていきます。<br>まず配布したプリントを見てください。<br>スケッチブックを開いてこれから読む文章を図で表してみてください。友達の手元が見えるように机をグループ隊形にしてください。<br>ワーク①<br>・人間関係を説明した文章を読み上げる。<br>・机間指導をする。<br>■では、代表して４人の人に黒板に描いてもらいます。誰が描きますか？ | |
| 展開35分 | ■描き終わったら説明してください。<br><br>情報デザインとはどのようなものなのかを理解しよう。<br><br>■同じ文章を表したものでも、これだけの種類の図式が描かれました。いろいろな図式が出てきましたが、共通してハートマークや矢印が描かれていますね。これは使えそうですね。一番分かりやすいのは誰の図でしょうか？またどうして分かりやすいのでしょう？<br>■では、あなたが外国人だったらどうですか？<br>■文章やデータ等を視覚的に説明してあげることで、より伝わりやすく理解しやすくなります。これが情報デザインの役割です。<br>このように図式化や可視化したものをダイアグラムと言います。教科書のＰ６４にあります。<br>■これから○○高についての情報を情報デザインの様々な方法でＢ２ボード１枚に表現していきます。今回はグループで制作します。社会においてデザインはチームで考えられることがほとんどだからです。これからグループ分けをします。<br>■プリントのワーク②【別紙参照】を見てください。返却した課題について、自分の調べてきた情報は | ・（友達の描く絵を見て）私と同じだ。<br>・○○君の図がいいなあ。<br>・男女の違いをトイレの男女マークで表しました。<br>・好きな気持ちをハートマークで表しました。<br>・矢印を使って気持ちの向かう方向を表しました。<br>・気持ちの方向は顔の向きで表しました。<br>・文字で「好き」「友人」と書きました。<br>・友達関係を表す図は難しいなあ。<br>・僕は、握手を表すことで友人関係は表現できると思う。<br>・○○さんの図が分かりやすい。<br>・色をピンクと青で変えてあるため、男女の違いが分かりやすいと思います。<br>・日本語は読めないよ。<br>・言葉が多くても分かりづらいよね。<br>・これはドラマなどによく出てくる人物相関図だ。<br>・寄藤文平さんの作品だ。ポスターの授業で見たよね。<br>・僕は地図だよ。 |

| | | |
|---|---|---|
| | 分類のどの項目に当てはまるのかを記入してください。<br>・分野が分からない生徒には助言する。<br>■分類別に生徒を分けて３人一組のグループを作る。 | ・2つの分野に入ってしまう時はどうすればいいですか？ |
| | ■グループもできましたので、班長とグループ名を決めてください。 | ・班長が決まりました。グループ名どうしよう？ |
| | ■返却した課題と、収集した資料がありますね。収集した資料について、どうしてこの資料を選んだのか？また、資料のよい点や物足りない点などをプリントに記入しながら、グループで分析していきます。<br>気が付いたことを、どんどん発言してください。<br><br>・ワークシートは５つ星の数で分かりやすく評価する。<br>・話合いが進まないところには近くのグループの分析結果を紹介する。<br><br>時間を十分取り意見をまとめさせたい。発見や疑問についてはどうしてなのか？をこの場でも考えさせるようにする。 | ・これは、高山に遠足に行った時にもらった地図。<br>・同じ地図だ。<br>・同じだけど、こっちは韓国語かな？微妙に色が変えてあるね。どうしてなのかな？<br>・ショッピングモールのフロアガイド、あんなに大きいと広げて見づらいよね。<br>・店舗の種類で色分けされているよね。<br>・このマップはすごい情報量だけど分かりやすいよね。<br>・地図に説明を入れると詰め込みすぎて分からないから、記号で位置が示してあるからではないかな？<br>・キャラクターが可愛いしアイコンを使っている。<br>・文字ばかりだと見る気がなくなるよね。<br>・今までは見たらすぐ捨てていたよ。<br>鑑賞・評価の意見については別紙資料参照 |
| | ■班長に出された意見を発表してもらいます。順に発表してください。<br>・出された意見を板書する。<br>・重複した意見は特に大切な視点であることを伝える。 | ・同じ意見でもいいの？ |
| | ■板書してから、同じような項目については簡単にまとめて確認しておく。 | ・可愛さは大事だよね。<br>・色がないと寂しい。<br>・よく１枚にまとめてあるよね。 |
| まとめ10分 | ■これらの意見は、情報デザインには欠かせない要素でこれから作品を作る上でとても重要なポイントになることばかりです。<br>■次回はこれらのポイントを参考にグループで取り組む情報の決定と企画書を作成して、実際に制作します。配布したプリントは、提出してください。 | ・え？企画書？<br>・会社みたいだね。 |

（6）授業の記録（2／5）

■教師の発言・生徒の発言

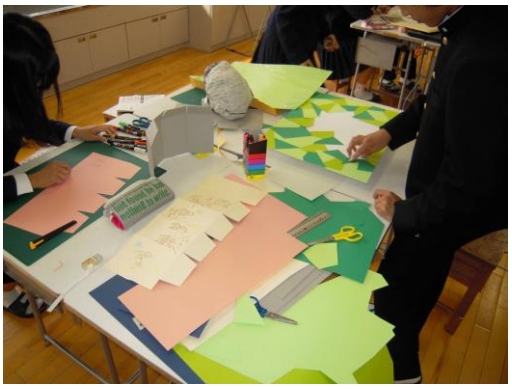
┈┈┈は改善のポイント　＿＿＿は配慮事項

| | 教師の発言 | 生徒の発言 |
|---|---|---|
| 導入5分 | 《プリントの配布（前時のまとめ・企画書）と返却》<br>学校の情報をダイアグラムに表現しよう。<br>■前回の授業では情報デザインについて理解を深めるために、各自が収集した資料を鑑賞し分析しましたね。いろいろな発見がありました。全クラスの意見をプリントにまとめました。皆さんの意見をまとめると大きく５つのポイントに絞ることができそうです。まとめていて気が付きましたが、すごいことに、情報デザインに関する書籍等に書かれてある内容とほぼ一致します。次の５項目です。 | ・結構、同じ意見だね。 |
| 展開40分 | ・板書する。（板書を残してしておく）<br>attractive(目を引く)　clear(情報の明確化)<br>simple(簡 略 化)　flow(目の流れに沿う)<br>wordless(文字を少なく)<br>取り組む分類によっては、全てのポイントが当てはまるわけではないことを確認する。<br>制作するとなると、色んなことを考えないといけないよね。このことを踏まえて、これから企画会議をしていきます。班長は、全体の進行と配布した企画書を記入し、どの情報について作品として表現していくのか、コンセプト、役割分担等を記入して提出してください。<br>・コンセプトについて説明する。<br>■コンセプトが決めづらい場合は、誰に向けて情報を伝えるのか？など対象を絞る方法もあります。<br>■今回の授業のために、各グループに１台コンピュータを用意しました。インターネットでの調査及び文字の打ち出し等に活用できます。<br>■決まったところから、企画書を記入して最後に提出してください。ダイアグラムはＢ２ボード１枚にまとめて表現します。随時制作に入ってください。画材や道具はここにあるのを使ってください。<br>・Ｂ２ボード、色画用紙、文具他を用意する。<br>参考資料も自由に見られるように置いておきます。<br>■次の時間は制作の続きです。それまでに時間外でやっておくべきことは各班の判断で実施しておいてください。 | ・おおっ。僕らはすごいなあ。<br>・clear(情報の明確化) と simple(簡 略 化)の違いは何？<br>・コンセプトってなんですか？<br>・駅から学校までの地図だけど○○さんの表現が分かりやすくていいな。<br>・駅から学校までどんな情報があったらいいか考えないといけないなあ。<br>・事故の危険場所なんてどう？危険を表す色はやっぱり赤だよね。<br>・中学生向けにして、学校見学の時に使えるようにしたらいいかも。部活動の場所は？<br>・キャラを使おう、キャラで目を引こう。<br>・立体じゃないと無理！立体でもいい？<br>・校舎の写真撮ってきてもいいですか？<br>・アンケート取ってもいいですか？<br>・最初、何からやろうか？○さんは調べて！○さんは写真ね。<br>・次の授業までに先生方にアンケート取るよ。<br>・面白そう。 |
| まとめ5分 | | |

（7）授業の記録（3・4／5）

■教師の発言・生徒の発言

……は改善のポイント ＿＿＿は配慮事項

| | 教師の発言 | 生徒の発言 |
|---|---|---|
| 導入5分 | 《企画書の返却》<br>・前時までの流れを確認する。<br>学校の情報をダイアグラムに表現しよう。<br>■前時から作品を制作していますね。<br>黒板に書かれている５つの項目について各班で十分考慮した上で作品を制作してください。<br>必要なものがある場合は声をかけてください。<br>■写真やイラストを使う場合は、肖像権や著作権に十分注意してください。 | |
| 展開40分 | 表現する情報の精選<br>■迷った時は、最初に戻ってコンセプトを確認してください。<br>時間制限のある中でデザインを考案し決定させるために、膨れていく情報を、clear と simple の視点から整理するように促す。<br>役割分担の偏重やバランスを考慮しながら、机間指導をする。<br>環境設備の観点から今回は、Ｂ２ボード１枚に表現するようにしたが、パワーポイントや様々な媒体で表現することができるような配慮があるとよかった。 | ・写真を撮ってきたので、プリントアウトしたいです。<br>・どの写真を使おうかな。これは色が暗いな。<br>・すごくきれいに撮れている。<br>・アンケートの結果をまとめよう。<br>・部活の在籍人数がＨＰより変化していると思うけど、どうしようか。<br>・キャラクター作ろう。鉛筆君なんてどう？<br>・この形にするにはどうしたらいいですか？<br>・この色にはどんな色味が合うのかな？<br>・レイアウトをどうしよう。<br>  <br>・こうすればいいのでは？<br>・ここのところは任せた。<br>・項目が多すぎて載せきれないけど、どうすればいいのか？<br>・〇〇班が面白いぞ。他のクラスのも見たい！<br>・さし棒を作ろう。<br>・クイズ形式なんてどう？<br>・動かしながら発表したらいいのでは？だから最初から固定しておくのをやめようよ。 |
| まとめ5分 | ■発表することをプレゼンテーションという言い方をします。会社で新しい商品を開発した時などに自社製品を紹介する場面などです。この作品を次回に発表し、鑑賞し合います。その時にどのようなプレゼンの仕方をすると、伝わりやすくなるのかということについても工夫しながら、制作する必要もありますよ。<br>■作品ができた所からプレゼン計画を立てて行きましょう。全員が発言できるといいですね。 | ・次回発表だ。どうしよう。（4／5時） |

（8）授業の記録（5／5）

■教師の発言・生徒の発言

……は改善のポイント ＿＿＿は配慮事項

| | | |
|---|---|---|
| 導入5分 | 《作品鑑賞会のプリントを配布する。》<br>・本時の流れを説明する。<br>作品のプレゼンテーションをし、コンセプトや見所などをアピールしよう。<br>・予め本時の流れ、発表内容等を板書しておく。<br>■これから順に各グループが製作した○高ダイアグラムをプレゼンテーションしていきます。持ち時間は3分です。作品について、コンセプトや工夫点、見どころなどを述べてもらいます。その後、一人ずつ感想なども言ってください。全員が作品について発言できるといいですね。 | ・プレゼンなんてやったことない。<br>発言順の確認をしている。<br>・デザイナーは大変だな。 |
| 展開40分 | ・プレゼンテーションは、デザインの現場では不可欠になってきている実情について説明する。<br>■聞く方も、様々な観点で鑑賞して欲しいと思います。情報デザインには欠かせないポイントが大きく5つありました。それぞれのポイントについて評価をし、配布したプリントに5つ星で記入していきます。そして、その理由を簡潔に記述してみましょう。質問や感想も後ほど聞きますので、隣の人と話してもいいですから、どの点がよかったのか、またこうするともっとよくなるのではないかということは積極的に述べましょう。<br>■くじを引いて順番を決めたら始めます。<br>プレゼン用イーゼルと展示用イーゼルを用意しておく。<br>作品を鑑賞し、工夫点や具体的な課題について考え合おう。<br>■では○○グループからどうぞ。<br>タイトルの重要性を認識させる。<br>・生徒のつぶやきを拾う。活発に意見が出せるような雰囲気を作る。<br>■評価や感想を聞こうかな。<br>・クラスに飾りたくなるとはどういうこと？<br>・どうして木にしたの？<br>・一番☆が多い評価は何について？<br>・自分たちのグループの作品と比べてどう思う？ | ○○グループです。<br>タイトルは「1－○と愉快な先生たち」です。<br>コンセプトは先生方の特徴をとらえ教科や先生の個性をイメージしやすいようにイラストで見せることです。クラスを一本の木に見立て、その枝の先には先生方がいます。（中略）<br>・先生の髪型にこだわりを感じる。<br>・イラストが可愛いから楽しめる。クラスに飾りたい。<br>・木で表すなんて考えなかった。<br>・先生の顔色が紫だったり、赤だったりして面白い。<br>自分たちの作品は細かく描きすぎていて目をひけないと思う。<br>・だけど私は attractive に5つ星を付けた。ぱっと見はイラストで可愛くまとめられているから、近寄ってじっくり見たくなるよ。 |

| | | |
|---|---|---|
| | ■これで発表が全て終わりました。<br>ではプリントに全体の感想を書いてください。<br>■全体の感想を聞きますね。<br>（グループで一人ずつ発言させる。）<br>・どのようなことを記入しているのか、個別の指導して全員で共有したい意見を発表させる。<br>グループ内で話合いの場を設ける<br>■今回は、鑑賞するだけではなく、実際に制作もしてもらいました。作る側の苦労や試行錯誤の過程を疑似的に体験することができましたね。<br>これから皆さんが社会に出てもデザインの仕事に就く人はほとんどいないかもしれないが、デザインを選ぶ立場になる可能性はあると思います。その時に、どのような視点でよいデザインを選択するのか？その「見る目」を持つことはとても大切だと思います。<br>■この授業に取り組み始めてから、新聞広告の中に明治製菓のチョコレートの広告に目が留まりました。見た人はいますか？<br>（明治製菓 2013 年 9 月 13 日掲載広告）<br>・実際の新聞広告を提示し、回覧する。<br>・スライドを準備し、同写真を投影する。<br>日本のチョコレート消費量を表現しています。チョコレートをかじった歯形の山を棒グラフに当て当てはめてあります。とてもシンプルな表現ですが、いろんな要素を含んでいることが分かりますか。発想も優れていますが、無駄な表現を省いてシンプルにまとめるまでの考察過程を考えてみてください。<br>■では、星の数を集計して、プリントの評価表を記入した人は提出してください。 | <br>もう一度、資料収集を課題として出した場合に、生徒たちがどんな資料を集めてくるのかを確認することができれば、学習の成果を確認する目安になりうる。<br>・作る側になると、いろんな問題が出てきて、人の目を引くにはどうすればいいのかと考えキャラクターを使うことにしました。<br>・文字の代わりにピクトグラムを考えました。<br>・初めて共同で作品を作って、自分では考えないような案が出てきたので面白かったです。<br>・写真が上手ですごくかっこいい。<br>・細かい作業が多くなってしまって時間外にも制作しなければならなくなったりしたけど、協力してやり遂げられた。<br>・文字が少なすぎても分かりづらくない？<br>・見たよ！可愛いよね。それ持ってこようかと思ったよ。<br>・え？どうなっているの？<br>・そうか、女の子はこれからもチョコを食べ続けるのか。<br>・今回の授業を通じて、日常で何げなく見ていた様々な印刷物やデザインに目がいくようになった。<br>・人の目を引きつけ、かつ、近くまで引き寄せ、人の体を引き寄せるために工夫を重ねるのがデザインだと分かった。<br>・役割分担があって、自分の居場所を感じられた。<br>・面白い要素だけでもだめで、分かりやすさとのバランスが大事だと分かった。<br>・これから広告の見方が変わるような気がする。 |
| まとめ5分 | ■もうひとつ、最後に少し見てもらいたい映像があります。今回５つのポイントがあったね。これから見せるのは田中健一というデザイナーの制作した「Japan is the strange country」という動画です。画像なので情報デザインとは少しずれるかも知れませんが、今回の授業で情報デザインに求められる要素がよく練られていて分かりやすく表現されていますので紹介して終わりにします。<br>・最初の５分程度のみ鑑賞して終了する。 | ・日本人のイメージがよく分かるし、面白いなあ。<br>・英語だけど分かりやすい。<br>・テンポが速く、印象的だね。<br>・続きを後で見てみよう。 |

5 成果と課題

成果

・毎年、年間指導計画の中で「B鑑賞」の授業を位置付けている。「A 表現」の授業においても、主に活動の終末で制作した作品を鑑賞し合う活動を行っている。今回、題材の導入において鑑賞の活動を設定することができないか考えた。つまり、第１時間目の鑑賞の中で、生徒にデザインの制作で必要な要素を見付けて整理させることが、題材の終末で制作した作品を鑑賞し合う際、鑑賞の視点をもたせることに結び付くと考えたのである。実際、共通理解した情報デザインに欠かせない５つのポイントを基に作品を鑑賞する生徒が多く、深まりのあるものとなった。

・夏季休業を利用し、事前に生活の中で情報を図式化して伝えている資料を探すという課題を与えた。生徒は、ショッピングモールのフロアガイドやグラフ、人物相関図や家電製品の取扱説明書などを収集してきた。中には、看板をデジタルカメラで撮影してきた生徒もいた。さらに、もう一つの課題として、自校の様々な情報を収集させた。生徒は、自分なりに部活動登録人数や各部の活動場所、出身中学別人数や先生方のプロフィールや常駐場所、学校周辺の交通事故危険個所など、様々な情報を収集してきた。こうした課題を通して、生徒は興味・関心を高めた上で授業に臨むことができた。

・美術の制作は個人で取り組むことが中心であるが、デザインにおいては複数で発想・構想することが効果的な場合もある。今回は３人から４人一組での活動とした。その結果、グループにおいて活発な意見が交わされ、多角的に物事を考察する姿や、相手の立場に立った判断をする姿につながった。生徒の鑑賞の能力の高さは予想以上であり、生徒の分析や発言は、プロのデザイナーの著書に書かれていた情報デザインに欠かせない要素とほとんどが一致していた。

・鑑賞においては、自分の見方や感じ方を明らかにするため、ワークシートへの記入が不可欠であると考える。今回は授業の流れに沿った使い方ができるよう、ワークシートの内容を工夫した。特に、作品の評価については、文章による記述から、５つ星による５段階評価とその理由を記述する方法に変更した。こうしたことから生徒は、自分の中で他者の作品に対する見方や感じ方をより明確にした上で鑑賞することができるようになった。さらに、鑑賞においては、生徒一人一人が感じ取った作品のよさや美しさなどの価値を、生徒同士で批評し合い自分の気付かなかった作品のよさを発見するなど、一層深く活動することが求められている。自分の中で作品に対する価値を明確にしたことが、生徒同士で作品に対して批評し合う姿を生み、より広がりがあり、深まりのある鑑賞の活動となった。

課題

・今回は、情報デザインのポイントを自分たちで見付け、それを基に自分たちで制作を進めるなど、生徒の主体性を重視したため、作品の主題や情報の選択を深く追求する姿には至らなかった。もう少しそれぞれの考えを共有したり、それらを整理したりする機会を意図的に設けることが必要だと感じている。そのことが、生徒の鑑賞の能力をさらに伸ばすことにつながると考える。

・生徒たちの表現は実に多岐にわたり、共同制作ならではの魅力に満ちたものとなった。それだけに、他クラスの作品への関心が高く、今後は撮影したプレゼンテーションのＶＴＲ鑑賞や、校内への作品展示等について実施していきたい。

・授業の最後に、紹介した参考作品を見せながら、「君たちにもう一度資料収集の課題を出したら、どんな資料を集めてくるのだろうか。」と生徒たちに問いかけてみた。「もう一度」という言葉に様々な反応はあったが、最後に提示した新聞広告を見せたときの反応を見ると、この実践の成果や、生徒たちの意識の向かった先を確認するためには、有効な手段ではないかと感じている。

# ○高をダイアグラムで表そう！

**ダイアグラム：（diagram） 線図　とは？**　参考：教科書 P64.65

ある情報をわかりやすく把握したり伝達したりするために絵や図を用いて工夫し、構造や手順を図表化すること。

【例】

TV 番組表や時刻表、地図や天気図、取扱説明書、グラフ、人物相関図や家系図等

授業で○高を紹介するポスターを作成しました。次の課題は情報デザインの、ダイアグラム作成と発表に取り組みます。

そのための下調べとして、客観的に○高を捉え、外部に向けて○高について紹介したいことや注目すべき事柄や統計などを調べてプリントに簡単にまとめて下さい。

**1 ○高についてダイアグラムに表現するならば？**

①何について表現するか。(複数可)

例：○高の生徒像！○高ベストテン！　○高生の効率的な学習方法！　○高のここに注目！貸し出し図書トップテン！　○高地図！部活紹介！出身中学統計！等

②調べる方法はどうするか。

例：先輩、先生にインタビュー、撮影、アンケート取材、HP で調べる等

③調査結果の記入及び図表の記入。

→どんな表現で伝えたら、見やすく分かりやすいかを考えアイデアスケッチする。

④参考にした資料、統計データや写真(普通紙にﾌﾟﾘﾝﾄｱｳﾄしたもの)を添付する。データは各自 SD カードや記録媒体に保管する。

**2 デザイン的に優れていると感じるダイアグラムが用いられた資料を集める。(複数可)**

例：地図、ショッピングモールのフロアガイド、家電製品の取扱説明書等

**注意事項!!**

**→：調査に当たっては実施可能な範囲とし、個人情報に十分留意すること。肖像権は勿論、他者の不快に思うような内容や了解の得られない情報については対象とはしません。**

## ○高をダイアグラムで表そう！

１年　　組　　氏名

1，○高についてダイアグラムに表現するならば？

①何について表現するか。

②調査方法はどうすればよいか。

③どのように表現すればわかりやすく伝えられるか？複数可

④参考にした資料、統計データや写真(普通紙にﾌﾟﾘﾝﾄｱｳﾄしたもの)等を添付する。

別紙の場合はホチキス、クリップ留め。

1年　　組　　氏名

# 情報デザイン(information design)

・生活の中にあふれる無数の情報をわかりやすく提示する。
・全ての人に同じように情報を伝えるため、情報をどのように**企画、設計、加工**し、どのような**方法**で伝えるか考えること。

たとえば…。文章で考えると伝わりづらい事柄を解説するために

**【Work1】**

A子さんは、B君のことが好き。しかしB君はC子さんが好き。
C子さんはB君を友人と思っている。C子さんはD君が好きで、
D君はC子さんが好き。

そこで！！

**より分かりやすく伝えるために図表化してみる。**
**情報やデータをダイアグラムで表現するとわかりやすくできるのでは？**

ダイアグラム＝(線図)情報の視覚化、図表化

**ポイント！**情報を整理するとき、大きく以下の5つの分類に分けて整理して考えることができます。

1. <u>カテゴリー</u>による整理→種類や特徴ごとに分類分けする。文化部と体育系部活動など
2. <u>時間</u>による整理→年表や番組表、時間割やスケジュール
3. <u>位置</u>による整理→地図や配置図、相関図
4. <u>連続量</u>→量や数、グラフに表す。重要度別等
5. <u>並び順</u>→辞書、カルテ、DVD、書籍(AtoZ,あ～ん順)

**【Work2】**

あなたが、夏季休業課題で取り組んだ内容は1～5のどのジャンルに入りますか？図表化に適した方法を探してみましょう。

**【Work3】**

グループ分け。類似するジャンルで取り組んだ人同士で、3～4人4グループ作ります。

**【グループWork1】**

**グループ内で、自分の収集資料を発表しグループで分析しあう。[最高点は★星５つッ！！]**

- ・ポイント1　見やすさ
- ・ポイント2　わかりやすさ
- ・ポイント3　楽しさ・独自性
- ・ポイント4　デザイン的特徴(書体・色・イラスト)
- ・ポイント5　物足りなさ

【グループ Work 1・2】について全体発表します！

**【グループ work2】**

**テーマを絞る。伝える情報をグループ内で一つに決める。**

１－〇のみんなから出された大切な意見！

☆色が統一されていると分かりやすい。

☆カテゴリー別で色分けすると見やすい。

☆イラストが多いと分かりやすい。　　☆ものを擬人化すると分かりやすい。

☆地図などには文字だけでなくアイコンやマークのように象徴的な形を使うと分かりやすい。

☆人の目を引きつけることが大切。　　☆グラフにグラデーションなどを活用するとよい。

☆横に長い資料はもって歩くときに広げづらい。→形の工夫

**★文字が多いと分かりづらい。**

**★横に長い資料はもって歩くときに広げづらい。→形の工夫**

１－〇のみんなから出された大切な意見！

☆色分けすると分かりやすい。

☆ぱっと見て目を引く必要がある。

☆必要な情報に絞ったほうが分かりやすい。　　☆最小の画面に必要な情報を全て入れてある。

☆部分的にズームアップすると見やすい。

☆具体的な形やものに置き換えて表現してみると分かりやすくなる。

☆目的や対象によって作り方や表現を変えてみることが有効。

**★文字が小さいと見る気がしなくなる。**

１－〇のみんなから出された大切な意見！

☆ぱっと見てイメージが伝わるものは見やすい。　　☆写真を使うと分かりやすい。

☆イラストが入ると楽しくなるし、分かりやすくなる。

☆絵や図を活用して簡潔に表現すると分かりやすい。

☆キャッチーな表紙で目を引くと、中身まで見たくなる。

☆色彩豊かな方が見やすい。☆文字を大きくすると見やすい。

☆シンプルで明るい色合いが見やすい。

**★文字の羅列は分かりづらい。**

１－〇のみんなから出された大切な意見！

☆項目別に色分けすると分かりやすい。　　☆シンプルなイラストは分かりやすい。

☆大切なところを色分けすると分かりやすい。　　☆イラストやアイコン化すると分かりやすくなる。

☆キャラクターやイラストを活用するとみようかなという気になる。

☆場所を示すとき、重要な箇所をズームアップする。

☆写真は暗く見えるので、明るい方が見やすい。等々

**★ごちゃごちゃしていると分かりづらい。→必要な情報に絞ってシンプルにする。**

**★文字が多いと見づらい。**

１－〇のみんなから出された大切な意見！

☆イラストをつかうと楽しいし、分かりやすい。　　☆色で区別すると分かりやすい。

☆シンプルな方が分かりやすい。　　☆矢印などを効果的に使う。

☆記号を有効に使うと分かりやすい。　　☆手で描く柔らかさもよい。

☆見出しがおもしろいと見る気がする。　　☆写真を使うと分かりやすい。

☆イラストと説明文をバランスよく使う。

**★文字が多いと見づらい。**

# 企　画　書

チーム名：

テーマ：

作品のコンセプト(制作意図、概念)

エスキース（完成予想図、アイデアスケッチ）

制作日程と分担